



2021年4月30日

各 位

会社名 株式会社タカラトミー  
代表者名 代表取締役社長 小島 一洋  
(コード番号 7867 東証第1部)  
問い合わせ先 連結管理本部長 伊藤 豪史郎  
(TEL 03-5654-1548)

## 通期連結業績予想の修正、個別業績予想と前期実績との差異に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、下記のとおり2020年8月13日に公表した連結業績予想を修正するとともに、個別業績予想において、前期実績と比較して差異が生じることをお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 145,000	百万円 5,500	百万円 5,500	百万円 3,000	円 銭 31.79
今回修正予想(B)	141,000	7,000	7,100	5,300	56.28
増減額(B-A)	△4,000	1,500	1,600	2,300	—
増減率(%)	△2.8	27.3	29.1	76.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	164,837	10,683	10,204	4,507	47.30

#### 2. 2021年3月期個別業績予想数値及び前期実績との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 83,474	百万円 6,075	百万円 7,465	百万円 4,979	円 銭 52.25
今回修正予想(B)	69,500	3,600	6,000	4,900	52.03
増減額(B-A)	△13,974	△2,475	△1,465	△79	—
増減率(%)	△16.7	△40.7	△19.6	△1.6	—

### 3. 修正の理由

#### (1) 連結業績予想

第4四半期における緊急事態宣言再発出の影響に伴い、映画公開の延期や各種イベントの中止・延期及び縮小等による小売、イベント事業の苦戦が継続し、売上高は前回発表予想を若干下回る見通しとなりました。利益面では粗利率の高い玩具事業の収益が補完したこと、昨年10月に米国の独立系玩具会社ファット・ブレイン・グループがTOMY International, Inc. の子会社となり新たに連結業績に加わったこと、またコロナ禍における費用抑制を継続したこと等の影響により、営業利益は前回発表予想を上回り、更に為替差益計上や比較的税率の低い会社の増益影響等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなりました。

#### (2) 個別業績予想（前期実績値との差異）

通期の個別業績においては、国内におけるベイブレードやサプライズトイのプロダクトライフサイクルの一巡や、新型コロナウイルス感染症の拡大影響に伴うイベントや行楽地、交通機関等における一部定番玩具の販売機会低下等が影響し、売上高、営業利益が前期実績を下回る見通しとなりました。また、営業外収益として為替差益計上及び特別利益として政策保有株式の売却益等を計上したことから、経常利益及び当期純利益は上記数値となる見通しです。

#### 【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上